

2015年(平成27年)度 定時社員総会 議事録

日時：2015年（平成27年）3月22日（日）15:00～16:00

会場：神戸国際会議場 メインホール（A会場）

開会の辞

渡辺庶務理事より、事前に寄せられた書面評決状は総数272通（第1～6号議案は賛成268通、反対0通、第7～9号議案は賛成267通、反対0通）、総会出席2名を加えて総数274名で、社員総数340名の過半数（170名）を上廻り、定款30条に定められた定足数を超え、社員総会が成立する旨の報告がおこなわれ、開会が宣せられた。

議長選出

渡辺庶務理事より、定款33条に基づき、理事会にて第120回全国学術集会会頭の河田光博氏を議長に選任したことが報告された。

I. 議事録署名人の選任

渡辺庶務理事より、定款34条に基づき、議事録署名人として監事の仙波恵美子氏（大阪行岡医療大）と小野勝彦氏（京都府立医大）が推薦され、承認された。

II. 理事長報告

河田理事長より、生理学会との合同大会に関して、準備にあたった関連委員会や参加者への謝辞が述べられた。次にサージカルトレーニングやネットリテラシーに関わる近年の解剖学学会の社会的責任の高まり、大学改革に伴う解剖学講座の名称変更による若い研究者の解剖学への意識の希薄化、男女共同参画による女性理事の登用、解剖学教育とともに形態学に立脚した研究の発展のための今後の学会としての戦略、他の学術団体との交流の活性化など、執行部としてのこれまでの取組みと次期執行部に引き継がれた今後の課題が述べられた。

III. 報告事項

渡辺常務理事より、資料に基づき以下の点について報告された。

1. 会員状況

平成26年12月31日現在の会員状況は、正会員2,036名、名誉会員83名、永年会員137名、賛助会員29名、団体会員57名、海外会員20名であることが報告された。

2. 物故会員

12名の物故会員の氏名が朗読され、続いて出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新代議員紹介

資料に基づき、教授就任による新代議員7名が紹介された。

4. 学会ロゴマーク決定について

昨年度公募した学会ロゴマークについて、会員から応募された15作品の中から、平成26年9月1日から10月7日の期間で会員によるオンライン投票を行った結果、白石昌武氏（金沢大学医薬保健域医学系機能解剖学）の作品が最多得票により選定され、本学会ロゴマークに決定したことが報告された。

5. 会員名簿2016発刊について

本年末に刊行予定である日本解剖学会会員名簿2016について、登録データの確認作業を本年5月頃に会員宛に郵送で依頼する予定であること、作業の効率化のために口腔保健協会オンラインシステム(OHASYS)を通じた登録データの事前の確認と更新をお願いしたいこと、6月発行予定の解剖学雑誌90巻3号において購入方法を案内する予定であることが説明された。

6. 各種規約の改定

一般社団法人日本解剖学会奨励賞規約における、賞の英語名称の変更と賞・研究費公募における被推薦者選考に関する規約の改定が説明された。

IV. 審議事項

1. 新永年会員の件

理事会より推薦された11名の候補者について資料をもとに審議され、承認された。

2. 申請による代議員の件

申請による11名の新代議員候補者について資料をもとに審議され、承認された。

3. 平成26年度事業および業務監査報告の件

① 学術集会開催状況

平成26年度の全国学術集会と支部学術集会の開催状況が資料をもとに報告され、承認された。

② 会議開催状況

平成26年度の常務理事会、理事会、定時社員総会の会議開催状況が資料をもとに報告され、承認された。

③ 内外学術団体との協力ならびに連絡

平成26年度の日本解剖学会が後援及び協賛した講演会、セミナー、被災地支援活動について資料をもとに報告され、承認された。

④ 研究の奨励および業績の奨励

平成26年度日本解剖学会奨励賞及び技能士功労賞受賞者が資料をもとに報告され、承認された。

⑤ 技能士認定

1級及び2級技能士合格者が資料をもとに報告され、承認された。

⑥ 委員会報告

以下の委員会の活動報告書が資料で示され、承認された。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1) 編集委員会報告 | 2) ASI編集委員会報告 |
| 3) 解剖組織技能士資格審査委員会報告 | 4) 解剖体委員会報告 |
| 5) 解剖学用語委員会報告 | 6) 海外交流委員会報告 |
| 7) 教育・若手育成委員会報告 | 8) 情報技術委員会報告 |
| 9) 学術委員会報告 | 10) コ・メディカル教育委員会報告 |
| 11) 倫理委員会報告 | 12) 男女共同参画推進委員会報告 |

4. 平成26年度決算および会計報告の件

寺田常務理事より、平成26年度決算について資料に基づき説明され、審議の結果、承認された。さらに、牛木監事と仙波監事による平成26年度第2期業務年度における会計及び業務ならびに公益目的支出計画実施の実施状況の監査報告書と小出公認会計士による独立監査人の監査報告書の内容が説明され、承認された。

5. 平成27年度予算および事業計画の件

寺田常務理事より、平成27年度予算および事業計画内容について資料に基づき説明された。平成27年度予算内容は概ね昨年度と同じであるが、相違点として、会員名簿2016発刊に伴う名簿頒布と広告掲載による事業収益の増加と、名簿作成費と日本医学会連合会費の支出増加が見込まれることが指摘された。審議の結果、承認された。

6. 平成28年度予算執行の件

平成28年度予算執行に関して、社員総会開催までの1~3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。

7. 第123回（平成30年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

河田理事長より第123回（平成30年度）総会・全国学術集会開催担当校として日本医科大学が推薦され、審議の結果、承認された。

8. 平成27・28年度役員選任の件

資料に基づき、平成26年11月17日に開催された選挙管理委員会での日本解剖学会2015/2016年度役員選出選挙の開票結果と、その後、開催された理事会において選出された2015/2016年度における理事長候補者と常務理事候補者が報告され、承認された。藤本豊士新理事長より、就任の挨拶として、形態学に立脚した質の高い研究成果の学会からの発信とともに次世代の解剖学教育・研究者の育成などの学会活動の活性化に努めたいとの言葉があった。引き続き、理事長より男女共同参画の観点から、西真弓氏（奈良県立医大）と野田泰子氏（自治医大）の2名を追加理事として推薦したい旨が述べられ、承認された。

9. 利益相反に関する規程制定、ならびに委員会設置規程一部改正の件

渡辺理事より、平成27年3月22日より施行する「一般社団法人日本解剖学会利益相反に関する規定」の内容が説明され、審議の結果、承認された。

V. 第121回（平成28年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

第121回日本解剖学会総会・全国学術集会会頭の八木沼洋行氏（福島県立医大）から、平成28年3月28日～30日の会期で福島県郡山市のビッグパレットふくしまを会場として『「かたち」から入るか、「かたち」に還るか』の大会テーマの下、準備中である旨報告され、復興過程の福島で開催される学会への参加協力が呼びかけられた。

閉会の辞

河田議長より閉会の辞が述べられた。

上記の2015年度（平成27年度）定時社員総会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2015年（平成27年） 月 日 _

一般社団法人日本解剖学会

議長

署名人

署名人